

令和元年 **10**月の大阪森林便り

目次

今月の木の話 **香木のいろいろ、逆に悪臭を立てる木も**

- (1)  北米産丸太 4年ぶり安値 9月対日価格 欧州材の下げ波及
- (2)  林業効率化に活用 準天頂衛星「みちびき」
- (3)  輸入合板が一段安 型枠用、1年10か月ぶり水準



今月の木の話

香木のいろいろ、逆に悪臭を立てる木も

*香木は大別すると、伽羅・沈香・白檀・シヤク梅檀。

*伽羅だけでも細別していくと100余種、沈香になると1000種以上。

*沈香：古代、インドから東南アジアにかけての熱帯地方で、香樹が洪水などで川の中に沈み、何千年もの間で水流に洗われ、枯れて腐蝕されながら香りを発する木の精髓だけが残されたもの。産地はタイ、インドネシア、マレーシア、インド、中国南部。

*伽羅：沈香のうち、焚かなくても匂いを発し、ひととき高貴な香りを発するもの。

*針葉樹は匂う部類の材が多く、落葉広葉樹は加工した材そのものには、ほとんど匂いが出るものではありません。

*常緑広葉樹はある程度匂いが残ります。

*ジェルトンプライなどのように、熱帯雨林で梅雨期になると異臭を発するものがあります。

(日本林業調査会「木材に強くなる本」より抜粋・引用)



(1)  北米産丸太 4年ぶり安値 9月対日価格 欧州材の

下げ波及

- *北米産丸太の対日価格が一段と下落。
 - ・9月積みの交渉が5か月連続の下げで決着。約4年ぶりの安値。
 - *競合する欧州産集成材の値下がりが一因。
 - ・日欧の経済連携協定（EPA）発効で輸入関税が下がったほか、円高・ユーロ安も重なり円建て価格は安くなりました。
 - *米国産地では伐採が順調で、原木価格が下落。
- (2019年9月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2)  林業効率化に活用 準天頂衛星「みちびき」

日立・丸紅、海外で実験

- *日立製作所と丸紅は、準天頂衛星システム「みちびき」を使って、林業を効率化する実証実験をインドネシアで始めます。
 - *木の高さから幹の体積を高精度で予測し、植林・伐採の計画を立てやすくします。
 - *ドローンにカメラを搭載し、木の高さを測定。木の伐採後、みちびきを使って地表の標高を測り、木の高さとの差から成長度合いを予測。
- (2019年9月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3)  輸入合板が一段安 型枠用、1年10か月ぶり水準

現地価格下げ受け

- *輸入合板の価格が一段と下落。
 - *コンクリート型枠用が2年10か月ぶりに値下がりした7月に比べて3%安。
 - *構造用合板も4%安。
 - *型枠用は2017年11月以来1年10か月ぶりの安値。
- (2019年9月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)